



人口と世帯数（1月1日現在）		人口の動き（12月分）	
●人口123,482人（-83）	●世帯49,087戸（-9）	●出生 71人	●死亡 134人
男 60,890人（-40）	（ ）は前月比	●婚姻 71組	●離婚 15組
女 62,592人（-43）		●転入 189人	●転出 209人

※住民基本台帳より（外国人住民を含む）



けいと
馨斗ちゃん 平成24年8月生

太田麻生・奈々さん（高萩町）



るい
瑠音ちゃん 平成24年10月生

西巻孝仁・幸子さん（富岡町）



れあ
麗歩ちゃん 平成23年7月生

書上琢磨・比登美さん（石塚町）



めい
萌衣ちゃん 平成21年12月生
あおい
碧惟ちゃん 平成23年4月生

町田陽一・朋子さん（山越町）

関ヶ原と信吉の転機

天徳寺宝衍の後をうけ、佐野家に婿養子として迎えられる家督を継いだのが佐野信吉です。信吉の父・富田知信は近江国の出身で、豊臣秀吉に重用されていた。そのため、信吉の佐野家への婿入りには秀吉の意向が反映されていた可能性が高いと考えられます。

唐沢山城跡の本丸周辺に見られる高石垣は、今日までその姿を残していますが、この堅牢な石垣を築くことができたのは、天徳寺宝衍や信吉の時代に秀吉とのつながりを通じて西日本の高い技術を取り入れることができた結果と考えられます。

しかし、秀吉の死後に家康の勢力が増すと、慶長5（1600）年の会津征伐の際に、信吉は家康からの命で、小山城内の普請とその周囲の陣小屋の建設を行っています。そして関ヶ原の戦いが開始されると、信吉は北方への抑えとなる働きをしています。

こうして、信吉は豊臣と徳川の天下の分け目のなかで、一族の存続をめぐる徳川方への転身という重要な決断を下しました。

しかし、信吉はこの戦いの同時期に佐野城（現在の城山公園一帯）へと移城することとなり、唐沢山城の最後の城主となっていきました。

関ヶ原と信吉の転機

No.47 国指定史跡を目指して！
生涯学習課 からさわやまじょうせき
☎(61)1174

唐沢山城跡



▲唐沢山神社の東側に残る石垣

介護付
有料老人ホーム

みぶき 佐野

2月10日(日)10時～12時
～入居相談会開催～

自分の時間を
自分らしく生きる
ゆったりと楽しむ

お問い合わせはいつでもお気軽にどうぞ
ホームページ <http://tbcss.co.jp/>

フリーダイヤル
0120-653-214

